



下井草図書館 YAだより vol.28

10代のYA(ヤングアダルト)世代にお届けします。

本の庭

2023年 | 冬号



今号の特集 映像化された本



図書館員からのおすすめ



新刊案内



今号の特集



映像化された本



『線は、僕を描く』

砥上裕将/著（講談社）

両親を事故で失い、喪失感の中にあった大学生の霜介は、バイト先で水墨画の巨匠・篠田湖山と出逢った。なぜか湖山に気に入られた彼はその場で内弟子にされてしまうが、湖山の孫・千瑛は、それに反発し…。



『ロボット・イン・ザ・ガーデン』

デボラ・インストール/著 松原葉子/訳（小学館）

近未来のイギリス。34歳のベンはある朝、自宅の庭で壊れかけた旧型ロボットのタンクを発見。他のアンドロイドにはない「何か」を感じたベンは、作り主を探そうとアメリカへ…。ダメ男とポンコツ男の子ロボットの友情物語！



『銀河鉄道の父』

門井慶喜/著（講談社）

岩手県をイーハトヴにし、銀河に鉄道を走らせた宮沢賢治。生涯夢を追い続けた賢治と、父でありすぎた父・政次郎との対立と慈愛の月日を、父の視点から描く。『小説現代』連載に、加筆、修正し単行本化。

新刊案内



『人類の物語』

どうして世界は不公平なんだろう？
ユヴァル・ノア・ハラリ/著
西田美緒子/訳（河出書房新社）

人類ははじめから、裕福な人と貧しい人、主人と召し使いに、わかっていたのか？ 1万年前にとても不思議なことが起きて、あらゆるものをすっかり変えてしまい…。いったい何が起きた？ ハラリによる「人類の物語」第2弾。



『平安のステキな！女性作家たち』

岩波ジュニア新書
川村裕子/著（岩波書店）

紫式部が清少納言や和泉式部に抱くジェラシー、明るい枕草子の悲しい背景、蜻蛉日記に込められた心の叫び、更級日記につづられた後悔…。平安時代のステキな女性作家たちとその作品を紹介する。

図書館員からのおすすめ



『気候危機がサクッとわかる本』

森朗/監修 森田正光/監修 ウェザーマップ/著
（東京書籍）

スーパー台風、集中豪雨・洪水、寒波・豪雪、動植物の絶滅など、世界で深刻な「気候危機」に関する入門書。地球温暖化の実態から、複雑な気候や天気のおもしろさ、未来へのアイデアまで、気象予報士が図や写真とともに紹介する。



季刊 YAだより「本の庭」

4・7・10・1月発行



杉並区立下井草図書館
杉並区下井草3-26-5
電話：3396-7999

※ 掲載している本の内容は「TRC MRAC」より